

専用記録機

DV-W5000U(USB)



専用記録ドライブとは、特に長期保存を目的とした重要なデータを光ディスクに保存する必要があるお客様の為に設計されたもので、記録機が持つ特性のバラつきを抑える為に、極めて厳格な管理体制の下で出荷検査を行っており、お客様へも検査成績書を提供致しますので、安心して重要データの光ディスク保存用途にお使い頂く事が出来ます。

	DV-W5000U	
書き込み速度 (最大速度)	DVD+R	16x(CAV)
	DVD+R DL	12x(Zone CLV)
	DVD-R	16x(CAV)
	DVD-R DL	12x(Zone CLV)
	DVD+RW	8x(Zone CLV)
	DVD-RW	6x(CLV)
	DVD-RAM	非対応
	CD-R	40x(CAV)
	CD-RW	非対応
	読み取り速度 (最大速度)	DVD-ROM
DVD+R		16x(CAV)
DVD+R DL		12x(CAV)
DVD-R		16x(CAV)
DVD-R DL		12x(CAV)
CD-ROM		40x(CAV)
CD-R		40x(CAV)
CD-RW		32x(CAV)

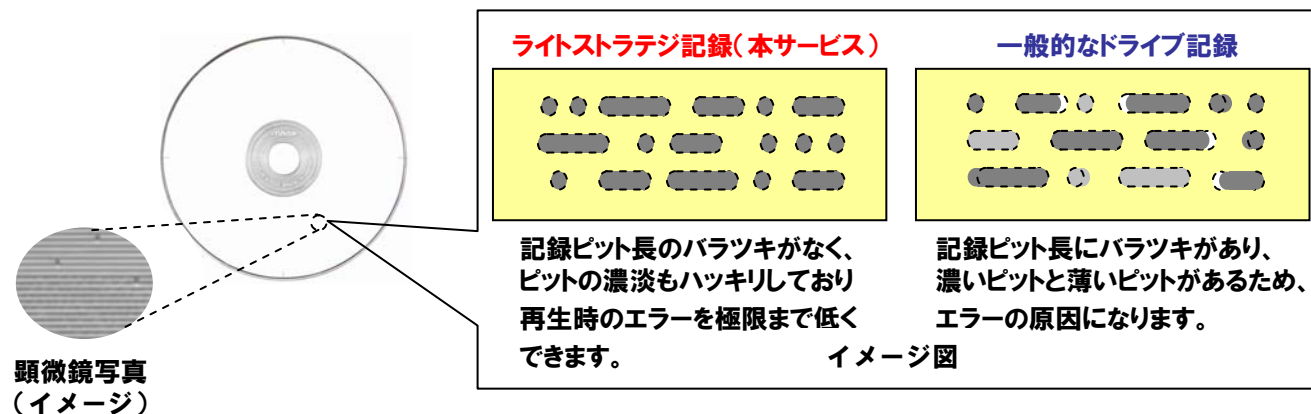
※弊社長期保存用ディスクに記録する場合、自動的に高品位モードとなり、CD-Rは16xCLV、DVD-Rは6xCLVに固定されます。

記録操作は、現在ご使用されておりますWritingソフトで通常通りに行えます。もし動作しない場合は当社窓口までご連絡願います。

長期保存ディスク専用記録ドライブの特徴

1. 高品質記録を実現する専用ライトストラテジ技術

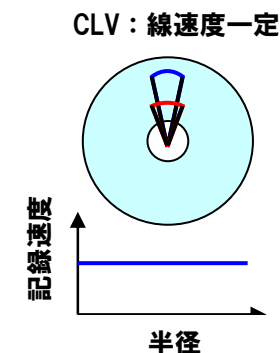
ディスクの性能に合わせ記録するレーザーパワーを最適化。長期保存ディスクの性能を最大限に引き出すことができます。



専用記録ドライブ

2. 低エラー記録を実現する記録速度一定 (CLV) 方式を採用

長期保存ディスクとの組み合わせ時にデータ記録開始から最外周まで一定速度でデータを記録し、エラー発生要因である速度変化箇所がなく、安定した低エラー記録を実現。



3. 自己診断機能の搭載

長期保存ディスク専用記録ドライブに自己診断機能を搭載。専用ドライブの経年劣化状態を把握することによって書き込み品質がよくないディスクの生産を未然に防ぎます。

自己診断機能

本機は、記録/再生レーザーの経時劣化に伴う記録品位の劣化を事前に検知し、ユーザー様に安心かつ安定した記録システムをご提供することを目的とした自己診断機能を搭載しております。

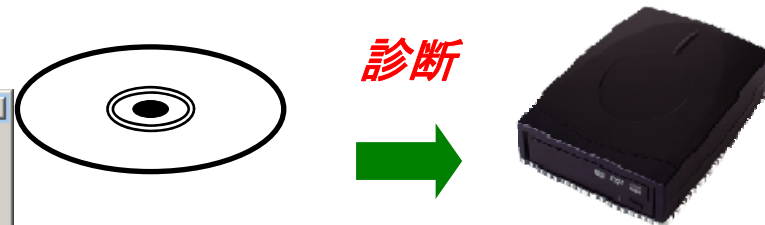
<診断結果例>

同梱アプリケーション: Drive Checker

The screenshot shows two windows of the 'Drive Inspection [V.21]' application. The top window displays a large blue 'OK' button and a red warning message: '規定記録時間(200時間)を超えています 速やかにドライブ診断を実行してください'. Below this, it lists '書き込み動作実行中', '測定実行中', and '残留時間初期化'. The bottom window displays a large red 'NG' button and a red message: '不合格 異常値を検出しました ドライブの交換をご検討ください'. It also lists '書き込み動作実行中' and '測定実行中'.

検査用メディア

本機



本機は、ユーザー様の使用状況に応じて定期的(LD照射200時間毎)にパワーインジケータを点滅させ、自己診断ツールの実施を促します。

「パワーインジケータ点滅」となった場合は、同梱の検査用メディアを本機に挿入し、Drive Checkerアプリケーションから「Drive Check」を実行してください。

診断結果が正常(合格)であった場合は、「パワーインジケータ点滅」が解除され今まで通りご使用いただけます。診断結果が異常(不合格)であった場合は、本機の交換を推奨いたします。